

➤ 1945年10月の国連創設から75周年を記念する国連総会「国連創設75周年記念ハイレベル会合」（9月21日）で採択。

記念宣言のポイント

【前文】

- 国連ほど、正統性を有し、糾合する力と規範的影響力を有する国際的機構は他にない。全ての国が集結する緊急性はかつてなく高い。
- 国連は戦争の惨害から将来の世代を救うために創設。脱植民地化、自由の促進、開発規範形成、疾病根絶、紛争緩和、人道支援、教育、人権及び基本的自由の促進・保護に取り組んできた。百万人以上が70以上の国連平和維持活動に従事。国連憲章は主権平等や紛争の平和的解決を含む原則を明確にし、国際法の基盤を提供。
- 他方、国連は失望も経験。世界はまだ、75年前に思い描かれた世界ではない。世界は、不平等、貧困、飢餓、武力紛争、テロ、不安定性、気候変動、及びパンデミックに苦しめられている。挑戦に応えるには**多国間主義の再活性化が必要**。
- 国連の歴史上最大の課題であるパンデミックは、死や病に加え世界的景気後退をもたらした。協力し連帯することによってのみ対処が可能。多国間主義は単なる選択肢ではなく、持続可能な世界へとより良い復興を遂げるために必要不可欠なもの。
- 平和と安全、開発及び人権という国連の三つの柱は相関関係にある。**持続可能な開発のための2030アジェンダが我々の行程表**。その実施は我々の生存に必要。我々は祝うためにではなく、行動を起こすためにここにいる。

【主文】

- **誰も取り残さない**：2030アジェンダの完全かつ予定どおりの実施を決意。人々がすべての努力の中心にあるべき。
 - **地球を守る**：自然災害、干ばつ、砂漠化、食糧・水不足、自然火災、海面上昇、海洋破壊等のため行動が必要。より良くグリーンに復興する**歴史的機会**。パリ協定上の適用可能な各国コミットメント等に沿った温室効果ガスの削減と持続可能な消費・生産の実現が必要。
 - **平和促進・紛争予防**：国連憲章、国際法の諸原則及び安全保障理事会の関連決議を遵守する重要性を表明。軍備管理、不拡散及び軍縮に係る諸合意及び枠組の堅持が必要。**陸上・海上・宇宙・サイバー空間での敵対行為防止のため外交手段の強化を事務総長に要請**。事務総長による地球規模停戦のイニシアティブを全面的に支持。平和の構築、維持及び持続は、国連の主要な責任の一つ。
 - **国際法の遵守、正義の確保**：国連憲章の目的・原則及び国際法は公正な世界の基礎。民主主義・人権の尊重を促進し、**民主的ガバナンスと法の支配の促進**を継続。
 - **女性・女兒を中心に置く**：あらゆる分野においてジェンダー平等、女性参加及び女性と女兒のエンパワメント実現のための行動を加速化。
 - **信頼関係の構築**：暴力、人権侵害、腐敗、周縁化、あらゆる形態の差別、貧困、排除、教育や雇用の欠如を含む**不平等の根本原因**に対処。
 - **デジタル分野の協力推進**：デジタル技術は2030アジェンダ実現加速化の可能性。すべての人に安全で安価なデジタルアクセス確保が必要。
 - **国連を刷新**：事務総長による改革を支持。**安保理改革の議論に新しい命を吹き込むこと**、総会再活性化と経社理強化にコミット。
 - **持続可能な資金確保**：分担金を全額、遅滞なく支払う。**透明性、説明責任と効率的資金利用を促進**。資金の官民連携は重要な役割。
 - **パートナーシップ強化**：国連をより包摂的なものとし、地域機関、非政府組織、市民社会等あらゆる関連主体と連携。
 - **若者の声を聞き、共に働く**：若者は、平和と開発のために欠かせない要素。若者の有意義な関与を通じ、状況を変える必要。
 - **備えを**：パンデミックは保健を含む危機に備えるよう警鐘。予防・対応システムの改善に加え、新たなワクチン、治療薬、医療機器の開発・製造、平等で安価なアクセスの促進が急務。全ての医療及びその他の最前線の従事者を賞賛。人々を対応の中心に置くことを誓う。
- ⇒ 行動を通じ我々が望む未来を確保する決意。次世代との共通の未来のため、パートナーと共に連携と**グローバルガバナンス**を強化する。
- ⇒ 会期末(2021年9月)までに、共通のアジェンダを前進させ、現在と将来の課題に対応するための**提案**を報告するよう事務総長に要請。